

耐圧分散シリーズ

長時間座っても、体に優しく、
心地いい。



人間工学に基づいて開発された 3D座面がお尻にフィット

長時間のデスクワークにおける、お尻の痛みや不快感を感じたことはありませんか？

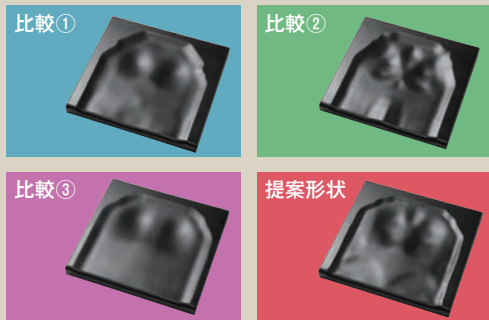
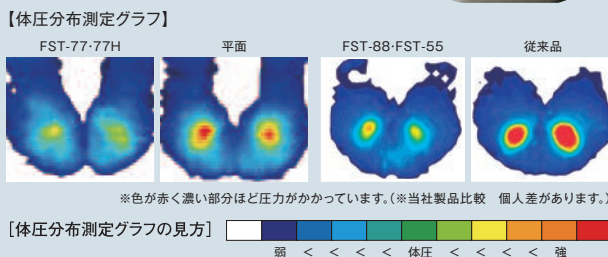
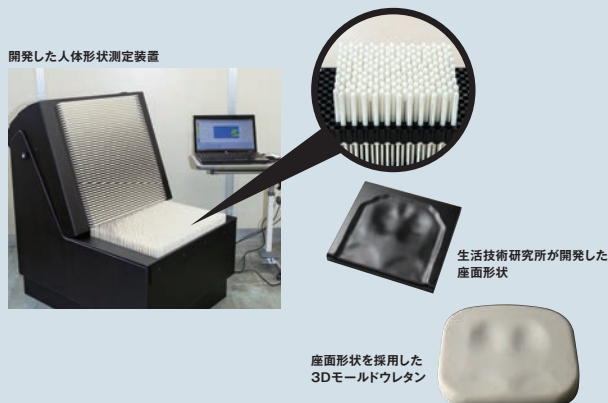
人間は椅子に座ったとき、体重の約85%を座面で支えています。そのためお尻の骨の部分に圧力が集中しお尻に痛みや不快感を感じます。痛みを回避するため姿勢が崩れ、身体他の部分に負担がかかります。

椅子の座面の形状をお尻の形状に合わせて、圧力が分散し、お尻の痛みや不快感が軽減します。但し、お尻の形状は老若男女様々で、そもそも着座時のお尻の測定が困難でした。

人体形状測定装置の開発によりお尻の形状の測定が容易になり、被験者62名(男性45名、女性17名)・測定条件6条件(自然着座・後傾姿勢・前傾姿勢・左傾斜姿勢・右傾斜姿勢・アップライト姿勢)62名×6姿勢=372個の形状を測定しました。

このデータを分析し、体格差や姿勢変化を考慮した結果、開発した3D座面を提案いたします。

(岐阜県生活技術研究所)



実験に使用した座面	データ処理の基準位置	
	坐骨結節部基準	臀部後端基準
自然着座時の平均値	比較①	比較②
体格差、姿勢変化考慮	比較③	提案形状

※体格差、姿勢変化考慮は、自然着座時の平均値をベースに体格差や姿勢による変形の大きかった部位をさらに削り込んだ形状です。

座り心地に関するアンケート調査

